

組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	文化振興課
職	課長
氏名	畦内 一夫

組織の使命・役割	何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か
本県には、藩政期以来培われてきた加賀百万石の伝統文化が今も息づくなど、多様で質の高い文化があふれている。この本県の優れた文化に一層磨きをかけ、県民共通の財産として次の世代へ確実に引き継いでいくとともに、新たな文化の創造に取り組んでいく必要がある。このため、文化振興の拠り所となる「いしかわ文化振興条例」に基づき、東京オリンピック・パラリンピックも見据え、さらなる文化の高みと裾野の拡大を目指し、文化の担い手である県民の文化活動を積極的に支援するなど、文化振興施策を効果的に推進していく。	

組織の目標	使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か
(定性的目標)	何をどのような状態にしたいか
①本県の優れた文化を県民共通の財産として次の世代へ確実に引き継ぐとともに、新たな文化の創造を通じて文化の裾野の拡大とさらなる文化の高みを目指す。 ②県民の文化意識の向上を図るとともに、多くの人が文化を鑑賞できる機会の充実、文化施設の利活用促進など、全ての県民が文化に親しむことのできる環境づくりを進める。	

(定量的目標)	具体的な指標、目標値を設定する				
目標とする成果指標	現行値	年(度)	目標値	年(度)	目標値の設定根拠(他県との比較など)
①兼六園周辺文化施設入館者数(5施設)	823,786	R1 年度	913,000	R4 年度	各館の独自企画及び連携強化による誘客対策等により、過去平均実績並以上でかつ中期経営目標の数値とする。
②音楽堂邦楽ホール入場者数・能楽堂利用者数	121,012	R1 年度	112,000	R4 年度	各施設の公演内容の充実、営業活動による貸館の利用促進により、入場者数を過去平均実績並以上でかつ中期経営目標の数値とする。



令和2年度に重点的に取り組むべき課題	左記の具体的な内容を記載する
①「加賀百万石文化めぐり」を通じた多彩な文化イベントの切れ目ない展開	東京オリンピック・パラリンピックを控え、外国人をはじめとした観光客のさらなる増加が見込まれることから、本県ならではの個性と厚みのある文化の創造と発信に向けた取り組みを一層推進する。 具体的には、美術館や歴史博物館等で、加賀百万石の多様な文化を国内外に発信する特別展を開催するほか、外国人観光客向けの本物志向の体験イベント(武士体験、能楽体験等)を実施するなど、兼六園周辺文化の森において、多彩な文化イベントを一年を通じて切れ目なく展開する。(※)
②いしかわの優れた文化の裾野拡大	本県には、音楽、美術、演劇といった芸術のほか、藩政期以来培われてきた伝統芸能や伝統工芸、生活文化など、多彩な文化があふれており、これらの優れた文化を県民共通の財産として次代に継承し、さらなる発展につなげていく必要がある。 このため、次代の文化を担う子どもたちによる発表と交流の場の提供や、「いしかわ県民文化振興基金」による県民の自主的・主体的な文化活動の支援を行うことにより、本県文化の魅力のさらなる磨き上げを図る。また、国内最大の文化の祭典である「国民文化祭」の本県開催に向けて着実に準備を進めるほか、文化立県・石川の新たな「知の殿堂」となる新たな県立図書館の整備を推進する。(※)

※) 新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、当初の予定どおりの開催が困難となった各種イベント等については、一部中止・延期するほか、可能なものは内容の変更・規模の縮小を行った上での開催を目指す。